

# 質疑・一般質問

6月11、14、15日の本会議では、質疑5名、一般質問15名の議員が発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。(掲載についてはどちらかを選択、発言順に掲載)

## 質疑

北条中学校地震改築工事  
請負契約の締結について



黒田秀一 議員  
(清風会)

### 答

開札結果表によると、10社が制限付一般競争入札に参加し、1社が辞退している。辞退の理由は、辞退の時点で追加は考えなかったのか。最低制限価格がないのはおかしいのではないか。参加業者が全て市外業者だが、経営事項審査調査の建築物一式の総合数値が1,200点以上となっているが、根拠は。地元業者が参入できる方式をなぜとらなかったのか。また、落札業者の点数は。

辞退の理由は、入札参加条件の監理技術者の配置ができないと聞いています。改めて業者を追加しなくても競争性は確保されると判断しています。設計額8,000万円以上の工事では、低入札

### 問

価格調査制度を採用しており、基準価格を下回った場合に調査を行い、適正と認められた場合に契約となります。完成工事の出来高、技術職員の数等を審査し、総合的に判断した評価点数が1,200点以上ある業者により入札を執行することで、しっかりとした工事をしていただけないかという判断と、加西市においては県の基準を準用している経過から1,200点以上となりました。(落札業者の点数は)1,2003点です。

## 一般質問

義務教育における学力の向上について



井上智章 議員  
(新政会)

### 問

加西市教育委員会としてはどのような学力向上を目標とし、それが達成されているかをどのように検証するか。個々の子どもたちが学力を伸ばしていけば、市全体として

学力は向上するが、伸びているかをどうやって把握しているのか。加西の教育をつかさどる教育委員会が、学力の動向を十分把握していなければ問題。個々の学校・先生の力量に頼るのではなく、教育委員会が学力に対して目標値を設定することが重要。そのために学力テストという客観的データを活かしていく作業が必要。また、保護者に対してこうした説明責任があるのではないか。



### 答

市全体としては、つかめていないところがあるかもしれませんが、教育委員会訪問、授業参観等、機会をとらえて学校に入る形で、子どもたちの様子、勉学の状況等はしっかりと把握しています。学習指導要領に示された内容が基本で、先生の目標としては教科書の内容が子どもたちによりわかりやすいようにということ、第1の目標としてやっています。100%手づくりの問題だけではだ

め、客観的な外部の問題を導入する必要はあると思っ

ふるさと納税の積極的活用について



山下光昭 議員  
(無所属クラブ)

### 問

平成20年度に発足したふるさと納税制度は、既に累計にして4月末で2,352万円、97名の方から寄付をいただき、財政の厳しい加西市にとっては大変ありがたい制度、財源となっている。財政難にあえぐ大阪市では、市外に住む職員にふるさと納税を呼びかけている。現在、加西市の職員は医療職を含めて721名、うち市外在住者は228名と聞く。市民税の10%をふるさと納税にお願いをすればどうか。外部についても積極的にPRするとともに、納税者への特典も充実するべきと考えるがどうか。

### 答

市職員への協力について、は非常に賛同するもので、協力要請をしていきたい。市外在住職員に市民税の10%を納